



4

考えてみよう

これまでの3日間で盛りだくさんの体験をしてきました。この間、子どもたちは、見たことや聞いたことなどから、それぞれが色々な宝を発見したはずです。その宝を「お宝マップ」という形に仕上げ、発表します。

8月18日(日)、子どもたちは、これまで体験したことまとめ作業をそれぞれ班に分かれて行いました。スタッフが各班のファシリテーターとなって、子どもたちの考えを引き出しながら、グループワークを進めていきました。子どもたちは、協力して、意見や感想などを取りまとめ、「西吉富お宝マップ」を仕上げていきました。

午後からは、いよいよ保護者の方々をお招きしての発表会。作成したお宝マップを使って、体験から発見した宝に自身の感想を添えて発表します。



3

体験してみよう

農作物収穫体験

8月9日(金)早朝、まだ眠たい目を擦りながら、収穫体験に出かけました。畑を提供してくださったのは、「百笑クラブ」の大森さん・若林さん・穴田さんのみなさんです。八ツ並地区のビニールハウスでアスパラガスを栽培し、道の駅しんよしとみに出荷しています。まず、穴田さんから「百笑クラブ」の説明があり、続いてアスパラガスの栽培・収穫方法を教えていただきました。子どもたちは早速ビニールハウスに入り、それぞれ指導を受けながら収穫を体験しました。収穫の後は、出荷の準備です。収穫したアスパラをきれいに洗い、それぞれの大きさに選別し、袋詰めをしました。

袋詰めを終了したアスパラガスを道の駅しんよしとみの野菜直売所に出荷し、上毛町産の野菜コーナーに陳列しました。その後、道の駅の施設について金光駅長から説明がありました。



夕食づくりでは、地域づくり活動団体「よらんかい」の皆さんが先生となって、調理体験をしました。今回は、流しそうめん、からあげ、地元野菜を使った郷土料理「ぐい」をメインに行いました。

まず、各班担当を分けて、流しそうめんにぐいの下準備を行います。流しそうめんの準備では、のこぎりで竹を切る作業を体験し、モノづくりの大変さ、大切さを実感しようです。次からあげとなる鶏をまるごと1匹さばきました。大人たちの心配をよそに子どもたちは、上手に鶏をさばっていました。

「よらんかい」のみなさんの鮮やかな調理姿に子どもたちも驚いた様子でした。このほか、翌日収穫を体験するアスパラを食べました。調理体験では、友だちと助け合い、協力して作業を行ったこともあり、味もひとしおのようでした。

天体観測

〜西吉富から星をみる〜

「オーイげんき」の渡辺さんから、天体望遠鏡の使い方と星まつわる伝説などを教えていただいた後、子どもたちは、げんきの杜の屋上へ上がって、星空を観察しました。

この日は、星が見えにくい状況でしたが、渡辺さんや林田さんからの解説を聞きながら観察し、さそり座や夏の大三角形などの星が確認できました。



「尻高地区のサロンは元気があって、いつも笑顔が絶えないサロンで自分も笑顔になった。」

「安雲拓心苑では、たくさんのお年寄りが笑顔だったので、安心して生活しているんだと思った。」

「上毛町に昔の山城が22個もあるところがすごいと思った。緒方城の土塁と堀が予想以上に大きかった。黒田氏との戦いは激しかったんだなあと思った。」

「流しそうめんはこれまで経験した中で一番長くて楽しかった。」

「ぐいを初めてつくった。上毛町のたくさんの野菜が入っていておいしかった。」

「にわとりを初めてさばいた。骨がたたくて切りにくかった。」

「食進会の昼食がおいしかった。」

「オーイげんきの方たちはとても元気であんな風になりたいと思った。またそば打ちをしたい。」

「オーイげんきかいの渡辺さんから星座をわかりやすく教えてもらった。もつと星を勉強したい。」

「アスパラはいろんな形で採れる。これ売るため、重さを量ったり、長さをそろえるところが難しかった。」

「新鮮な野菜を売るためにみんな朝早く道の駅にもっていつている。」

「だから道の駅しんよしとみでは新鮮な野菜が安く売られている。」

子どもたちは、みんなで発表の役割分担を決め、発表しました。各班の発表が終わると、子どもたちの懸命さに、温かい拍手が贈られました。そして、全ての任務を完了した子どもたちに修了証が授与されました。

これからもさまざまな体験学習プログラムを通じて、「まちの宝」を子どもたちに伝え、地域への愛着や責任感を育んでいきたいと考えています。ご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。

